

## 遊 歩 道

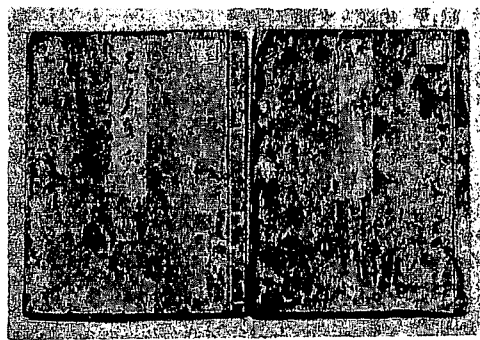
## 四高本「さごろも」について

## 甘露寺親長自筆本よりの転写本

七門二十四類四十二号、明治三十三年九月十八日受入、納入者若林、価格二四五十銭。以上が第四高等学校受入供養堂に記載されている四高本「さごろも」についての記録でありこの本の書誌の総てであった。

本学に、前身諸学校の蔵書が包括統合されて以来、今日まで、その経歴がはっきりしないまま貴重棚の一隅に保管されてきたのである。

先般、本学において、日本説話文学会金沢大会が開催された際、学会特別講演のため、



「さごろも」右第一冊、左第二冊



「さごろも」巻 頭

来沢中であった国文学界の重鎮山岸徳平先生が来館され、左記のような由来を、うかがい知る事ができた。

四高本「さごろも」は、甘露寺親長自筆本四冊の転写本である。自筆本は昭和八年頃、黒門町の文行堂店主が所持しており、四高本と対校したところ全く一致したそうである。自筆本は、佐々木信綱先生を経て、現在は天理図書館に所蔵されているとのことである。

なお、四高本は虫損が甚しく、閲覧、貸出は停止しており、閲覧にはマイクロフィッシュを利用願うことになっている。(F・N)